

深尾研究室 Newsletter No.001

Treasure of Ryukoku Life

龍谷大学で得た財産

2025年3月に卒業する深尾研究室の学生に龍谷大学での4年間で振り返ってインタビューをしました。

— 卒業おめでとうございます。学生生活を振り返って、今どんなことを感じていますか。

「色々と紆余曲折の4年間でした。振り返ると最初の2年生までを結構だらだらと過ごしてしまって...ちょっと気持ちを切り替えてやり直そうと思ったのが3回生の年でした。そこで深尾先生の位相入門の講義を受けて面白さを感じました。」

— 中川さんは、龍谷大学先端理工学研究科に進学しますが、その3回生のあたりから大学数学を面白く感じたのかな。

「はい。数理情報演習(3回生前期にある研究室選択のための準備科目)で川上先生の講義をちょっと受けさせてもらったんですけど、ゼミ形式で。ああ、こういう感じで数学のゼミは進むのか、**ここまで数学を厳密に追究するのも楽しいな**と思いました。深尾研究室でのゼミの発表も最初はどんな感じで回ってくるのかなあと不安でしたが、ゼミ形式の流れは分かっていたので徐々に慣れていくことができました。」



— 数理・情報科学課程には深尾研以外にも、川上先生や藤原先生など数学の基礎を学べる研究室が複数ありますが、数学系研究室での卒研はどうでしたか。

「洋書の輪読でしたが、始めの頃は内容についてどう準備したらいいのか分かりませんでした。回数を重ねるごとに、多分、深尾先生にここを詰めて質問されるだろうと分かるようになっていき、自分の証明の中で、その論理の行間を埋めておかないといけない箇所を見つけられるようになり、最後は理解しながら進められるようになりました。」

3回生の前期まで 迷えるよさ

— 龍谷大学 先端理工学部 数理・情報科学課程のどんなところがよかったですか。

「私の周りは結構、両極端で最初から情報が好き、数学が好きとはっきりしていて、最初から進む分野を決めていた人もいたんですけど、**学年が上がっていくうちに、情報が得意になったり、逆に数学が得意になる人もいて、それを3回生の前期まで、どちらの分野に進んでいくのかを迷えるのがいいなあ**と思います。」

— 確かに教育学部や理学部の進路選択をするというのは、進路の方向性をかなり絞ることになるので、その点、数理・情報科学課程では大学に入ってから分野選択をじっくり時間をかけてできますね。

「学校の先生しかありえないと進路を決めていたり、数学を追究すると決めていたりして、気持ちが全くゆるがない人はいいけれど。龍大の数理・情報科学課程なら数学と情報の両方が深く学べたので、数学が得意で入学して、**だけど大学の数学がかなり高度なので分からなくなって、情報の方が好きになっていくという友達もいました。**」

— 高校生の段階でそこまで見通せましたか。

「いいえ、大学の数学がどんなものなのか想像できませんでした。高校数学、高校の頃の数学が得意という感覚がそのまま通用しなかったです。そのギャップを大学入学後、2年間で感じながら迷えるっていうのがやっぱりよかったです。」



中川 佳音 さん

深尾研究室 2期生 2025年3月卒
(三重県 県立松阪高等学校 卒)
龍谷大学 大学院先端理工学研究科 進学

— 龍谷大学 大学院先端理工学研究科に進学しますが、最後に意気込みを聞かせてください。

「大学院修了後は高校の先生を目指そうと思っています。そこでは数学の授業作りに力を入れ、こだわりたいです。授業が分かりやすいというのはもちろんですが、それだけじゃなくて、『**数学無理!**』っていう生徒たちを置いていけない、そんな先生になりたいです。そう考えると、高校の先生になる前、最後というか学生として何かを真剣に学んでいき、時間をかけて数学と向き合うという機会が大学院なのだと思うので、妥協せずに2年間、数学と向き合っていきたいです。」

2025年3月14日

編集責任者：深尾 武史
数理・情報科学課程
fukao@math.ryukoku.ac.jp
<https://fukao.math.ryukoku.ac.jp/>



龍谷大学 先端理工学部
〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5
▮ 瀬田キャンパス

